

### 夏休みに食料支援を フードバンク呼びかけ

給食のない夏休み期間中のひとり親家庭へ無償で食品を届けるため、NPO法人フードバンク狛江が食品の寄贈を呼びかけている。

昨年の夏休みは44世帯122人(高校生以下67人)に食品を提供した。

受付場所は狛江市社会福祉協議会、こまえくぼ1234、こまえ正吉苑、こまえ苑、ビン・缶リサイクルセンター(毎月第1火曜午後2~4時)。

受け付ける食品は賞味期限1カ月以上の常温保存食品や米、缶詰、レトルト食品、菓子、飲料など。

問い合わせ ☎・FAX 5497-0272 (月・日 午前10時~午後5時) フードバンク狛江。

### 狛江駅周辺のごみ回収 狛江市商工会青年部

狛江市商工会青年部(佐々木美輪部長)が6月14日(金)午前8時から狛江駅周辺の清掃活動を行った。

商工会青年部の全国統一事業「絆」感謝運動」として行っているもので、今回で3回目。地域や青年部員同士の絆をテーマに商店



ごみを拾う商工会青年部の部員たち

主など16人が参加、約30分にわたって北口と南口のロータリーを中心に吸い殻や空き缶、弁当の空き箱などゴミ袋4個分を集めた。部員らは「駅前は一見きれいに見えるが、物陰に大量のゴミが捨てられている所もあり、市民のマナーを向上していく必要があります」と話していた。

### 狛江の未来地図を描こう 8月4日に「みらい会議」

狛江青年会議所がワークショップ「狛江みらい会議2030」を8月4日(日)午前10時(受付9時30分)~午後1時に狛江第三中学校で催す。

NPO法人atamistaの三好明さんが熱海市での取り組み事例を、前狛江市議会議員の山田拓史さんが狛江の現状と未来について講演する。その後、体育館に広げた地図にグループでアイデアを出し合い、2030年の狛江の未来地図を描く。

参加資格は狛江に関心のある20~40代の人で、定員40人。申し込みは7月26日(金)までにEメール(M komaemiraikaigi2030@gmail.com)で申し込む。

### ハンディキャブこまえ 移動サービス考える会

NPO法人ハンディキャブこまえが「みんなで考えよう狛江の移動サービス~これからどうなるハンディキャブ」と題した検討会を14日(日)午後2時から狛江市市民活動支援センターこまえくぼ1234で催す。

同会は平成10年から福祉車両の運行を始め、約80人の利用会員に対し運転スタッフ6~7人が年間

約2,500件の移動サービスを提供している。しかし、運転や運行管理を行うスタッフの高齢化に伴って事業の継続が難しくなったため、新しい移動サービスの団体の結成に向けて関係団体や市民が集まって検討することにした。

問い合わせ ☎3480-5433 ハンディキャブこまえ。

### 狛江フェスティバル2019 出店や出演者などを募集

8月31日(日)、9月1日(月)午前11時~午後8時に狛江駅北口のメビウス∞えきまえ広場と泉龍寺で催される「狛江フェスティバル2019」の出店者を7月7日(日)まで募集している。

当日は音楽やダンスのステージ、市内の飲食店によるビールフェスタとつまみ販売、親子で楽しめる夏祭りが行われる。

詳細はフェイスブック(<https://www.facebook.com/komaefestival/>)

### 第53回多摩川 ふるさと団地まつり

①27日(日)・28日(月)午後5時~9時②多摩川住宅中央野球場③盆踊り、太鼓演奏、夜店など。28日(月)午前9時から午後5時まで団地内をみこしとだしが練り歩く④多摩川住宅の各号棟の6単位会で構成する多摩川住宅団地まつり実行委員会

### 松原青年会盆踊り

①30日(日)・31日(月)(雨天順延、予備日8月1日(日))午後7時~9時②狛江第一小学校③狛江音頭などの模範の踊りの後、子どもが順番にやぐらで踊る。やぐらに登る子どもに抽選券を配り、2日目に抽選でプレゼント。青



問い合わせ ☎3480-9367 木村メガネ。

### バンドフェスティバル 28日に14団体が競演

狛江バンドフェスティバル(狛江市音楽連盟主催)が28日(日)午前11時から西河原公民館で催される。21回目の今回は14団体が出演、ジャズやポップス、ロックなど多彩なジャンルのアマチュアバンドが8時間以上にわたって演奏する。

昭和48年から開かれていた初夏の音楽会の参加団体が増えたためバンド部門が独立、平成11年に初めて開催された。連盟所属バンド及び審査を経た公募バンドの生演奏を聴きながら、会場で自由に飲食できるフリーなスタイルが人気を集めている。

入場料は1,000円、障がい者と介護者は500円、高校生以下無料。

問い合わせ ☎080-5177-3938 山本さん。

年會が焼きソバ、フランクフルト、ジュース、かき氷、ビールを販売④松原青年会 ☎090-8851-6451 綿山

### 狛江団地祭

①8月2日(金)・3日(土)午後7時~9時・4日(日)午前10時~12時②藤塚第三児童公園(狛江団地中央公園)③2・3日山梨県小菅村の特産物出店、盆踊りと出店、4日は子どもみこし・だし(午前9時30分集合)、スイカ割り、輪投げ、人形すくい④狛江団地自治会 ☎3488-0933

### 記事の見方

①開催日・期間②会場③内容④主催・問い合わせ



◆78◆

西和泉グランド近くの黒石精肉店(中和泉4-25-2)は半世紀にわたり営業を続けてきた。

創業者の糊倉耕造さん(79)は長野県飯田市の会社員の家に生まれた。中学卒業後の昭和30年に上京、知人が目黒区祐天寺駅近くで営んでいた精肉店「黒石商店」に住み込み店員として就職。周辺は高級住宅街で芸能人やスポーツ選手の家も多く、ご用聞きに回って注文を受ける営業形態が中心で、若い店員約10人が働いていた。糊倉さんも先輩についてご用聞きと配達から修行を始めた。当時の精肉店は、大きな塊のまま問屋から仕入れて冷蔵庫に保管。販売する時は大きな包丁を使って部位に切り分けたが、技術と体力を要した。糊倉さんは熱心に肉の精肉作業を深夜まで行った。恒子さんも接客に加えてコロケや餃子などの惣菜



糊倉耕造さん(左)、恒子さん

## 質の高い安心・安全な国内産の肉を提供

### 黒石精肉店

勤めて10年余りで、店主の姪で飯田市の農家生まれの恒子さん(73)と結婚が決まり、独立に向けて準備を始めた。当初は東急田園都市線沿線で店舗を探したが、適当な物件が見つからなかった。結婚の日程が迫るなか、取引先の社長から現在の店舗付き住宅の権利を譲り受け44年に開店と同時に結婚した。恒子さんが店主の親戚だったため、店名に「黒石」の名を入れ、また当初は黒石商店の支店の形にしたため、良い肉を仕入れることができたという。

同店と同じ店舗付き住宅には鮮魚、青果、すしなどの店が入り、周辺にも食料品や豆腐などの店が開店、西和泉グランドの位置にあった狛江第四小学校にちなんで「狛江四小前商店会」と呼ばれた。商店街には多摩川住宅の住民が日常の買い物に訪れ、業務はすぐに軌道に乗ったという。店には朝から来店する人もいたため午前7時に開店した。午後8時の閉店後は、翌日販売する肉を部位毎に切り分け、成形する作業を深夜まで行った。恒子さんも接客に加えてコロケや餃子などの惣菜

作りを担当した。年末はすき焼きやステーキ用の注文が多く舞い込み、30日、31日は徹夜に近い状態だった。子どもも3人生まれたため、育児と店が忙しい時は実妹が上京し家事や接客を手伝ったこともあるという。四小で運動会などの行事がある時は唐揚げ用の鶏肉が大量に売れたという。また、中和泉も次第に住宅が増え、店の売り上げも随分増えた。

耕造さんは52年に食肉専門技術士の資格を取得、大手スーパーに対抗するための価格競争はせず、開店当時から現在まで質の高い肉を販売するのをモットーにし、最近では国内の産地や肉のランクにこだわって安心・安全な肉の提供に努めている。また、近くの青果店が閉店したため、顧客のために肉料理に使うタマネギ、ジャガイモなどの野菜も販売している。

約20年前から三男の達朗さん(42)が勤めを辞めて店を手伝うようになり、家族で交替しながら店を切り盛りしている。耕造さんは「長く続けてこられたのは、お客様の希望に合わせた高い品質の肉を提供してきたからだと思います」と話している。

黒石精肉店 ☎3489-9355 営業時間=午前9時~午後7時 火曜休み

## 昭和44年に開業/多摩川住宅の住民で朝からにぎわう

### Start & Challenge 狛江市が7団体に市民公益活動事業補助金交付

平成31年度狛江市市民公益活動事業補助金選考会が5月26日(日)に防災センターで催された。

募集にはチャレンジ補助金に7団体が応募、選考の結果、すべての団体に補助金の交付が決まった。

公開プレゼンテーションでは、応募した7団体が事業の内容などを石田寿彦委員長ら7人の選考委員に説明するとともに、選考委員の質問に答えた。その後、選考委員が事業の先駆性や将来性などを審査、補助金の額を決めた。

補助金を交付される団体は狛江市将棋愛好会、こまえアレルギーの会、あおぞら自主保育狛江おひさまの会、子育ての輪、comaecolor、狛江CSAle実行委員会、狛江視覚障害者の会。

### 8月4日に狛江市民将棋普及振興大会を開催

狛江市将棋愛好会(深井秀造代表)が8月4日(日)午前9時30分~午後5時に中央公民館で狛江市民将棋普及振興大会を開催する。

同会は平成26年に市民への将棋の普及をめざして発

定、毎週日曜日午後1時~5時に定期対局会を開いている。ブームの影響もあって、103人の会員のうち小中学生が44人を占めており、子どもたちには、礼節や謙虚な気持ちを忘れず対局に臨むよう指導しているという。

平成31年度市民公益活動事業補助金のチャレンジ補助金を受けて木製の将棋盤を増やし、多くの人に本格的な将棋を楽しんでもらう機会を提供する。

今回で4回目の大会は、棋力に応じクラスに分かれてトーナメント方式で対戦、各クラス成績優秀者を表彰し、敗者復活戦も行う。役員との練習対局や簡単な詰め将棋も行う予定。参加費はおとな1,000円、小中学生・女性500円。申し込みは事前に同会へ。深井さんは「狛江市や狛江市教育委員会と共催することになったので、たくさんの人に参加してほしい」と話している。

問い合わせ・参加申し込み ☎080-5889-2552 同会事務局 深井さん。



昨年の狛江市民将棋大会